

---

## 齋藤 真知亜 Machia Saito, Violin

1962 年東京生まれ。

1985 年東京芸術大学を首席で卒業。同年芸大オーケストラ定期演奏会のソリストに選ばれる。NHK 新人洋楽オーディション合格。

1986 年 NHK 交響楽団に入団。

1999 年からはリサイタルを毎年開催し、様々な楽器との共演を主とした「Viologue」、協奏曲を中心とした「Biologue」、現在はアルファベットを辿る「Dialogue」。その独特なプログラミングや演奏スタイルは、回を追う毎にファンを増やしている。

2006 年より東京音楽大学の教授陣と共に弦楽四重奏団「Quattro Piaceri」に参加。ショスタコーヴィチ全曲演奏を中心とした活動は、各方面より注目を集め、2010 年に「第 65 回文化庁芸術祭音楽部門大賞」を受賞した。

2007 年より NHK 交響楽団のメンバーによる「ヴィルトゥオーゾカルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏全曲演奏を完遂。

西崎信二、奥田富士子、兎束龍夫、海野義雄、二村英之、山口裕之の各氏に師事。

現在 NHK 交響楽団第一ヴァイオリン・フォアシュピーラー、東京音楽大学非常勤講師。また、ジュニア・フィルでは指揮者として若者の育成に力を注いでいる。

TaRaGa レーベルより「シェーンベルク：月に憑かれたピエロ」、SUGI レーベルより「ザ・ビートルズ・オン・ストリング・カルテット」、「弦楽四重奏による〈ドラゴン・クエスト〉」、キングレコードより「クワトロ・ピアチェーリ」、マイスターミュージックより「ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 15 番&大フーガ」、「ゴールドベルク変奏曲」を各リリース。「ゴールドベルク変奏曲」はオーディオファイルのサイトにて優秀録音に評される。昨年、ローゼンタール&齋藤真知亜編曲の「モーツァルト：レクイエム弦楽四重奏版」もリリースし再び優秀録音に選ばれ、各方面より注目を浴びている。

(2017 年 8 月現在・転載禁止)